



被災地はいま…… 岩手県宮古市では

東日本大震災 発生から 3 年 7 ヶ月——びばい社協東日本大震災被災地訪問交流事業

第 4 回目となる今回の訪問交流事業は 10 月 10 日（金）から 2 泊 3 日（1 船中泊）で市民及び社協関係者合計 15 名で宮古市に行ってきました。3 回目となる今回の宮古市訪問は大きな被害を受けた①田老地区の復興の様子を見聞きし皆さんにお伝えすること②この春に全面復旧した三陸鉄道北リアス線に乘車すること（地域経済振興）③宮古市社協デイサービスの高齢者との交流の 3 つを目的としました。

① 宮古市田老地区では……最大津波高さは 16m、死者行方不明 181 名、罹災戸数 1691 戸という大きな



防潮堤でガイド(左端白ジャンパー)から津波発生時の様子を聞くメンバー



地区内には盛土や重機があり復興の兆しが見られました



407 戸の仮設住宅がある三陸グリーンピア入口の立て看板

被害を受けました。田老地区は明治以来 2 度の大津波に遭い、昭和時代に海拔 10m、総延長 1350m の「万里の長城」と称された防潮堤を築いていましたが、この度の大震災では想定をはるかに超える 16m (推定) の津波が一瞬のうちにまちを襲ったと自らも経営していた民宿 (兼自宅) を流され被災したガイドさんが語っていました。

②三陸鉄道であまちゃんのふるさとを行く……お座敷列車最終日 2 日前のため駅舎では大勢の観光客があまちゃんに迎えられていました。名物の「うに弁当」を食べられなかったメンバー同は売店で大量に買い込んだ宮古市の産物を肴に夕暮れのリアス式海岸を眺めながら交流しました。

③宮古市社協デイサービスで交流……今回メンバーには発生直後にボランティアとして派遣された本会職員 2 名があり、宮古の皆さんに「おかえりなさい」と出迎えられました。デイサービスでは「南京玉すだれ」と「雅楽」を披露し、利用者さんから大きな拍手を受けていました。



改札前であまちゃんがお出迎え



アラビア語で三鉄復旧支援国クウェートに感謝

3 回目の参加の佐藤英子さんのお話

今回の訪問では田老地区の「学ぶ防災」でガイドさんのお話を聞いたことが最も印象に残っています。自らも実際に被災したガイドさんが自分を押し殺し必死に伝えようとしている姿にかなりのエネルギーを感じました。「今はこれしか仕事がないから」とも言っていました。ガイドさんの心は、被災した時のまま。田老の防潮堤から眺める景色は、計画は進んでいるようだったが、具体的な復興は見えませんでした。高齢者は 10 年先ではなく今日明日の復興を望んでいるように思えました

権利擁護支援フォーラム in びばい (全国権利擁護支援ネットワークと共催事業)

美唄市成年後見支援センター研修会 (びばい地域福祉セミナー)



「私たちは意思決定支援にどう取り組むべきか」

11 月 23 日 (日) 13:00~16:30 / 美唄市総合福祉センターぽぷら 研修室

H22 の障害者基本法改正で「障害者の意思決定の支援に配慮すること」と規定され、H25 施行の障害者総合支援法でもサービス実施事業者や相談支援事業者に「意思決定支援に配慮すること」と位置付けられた。このフォーラムでは最近の意思決定支援の動向を踏まえながら岡山市で意思決定支援センタービューを立上げ先進的な取り組みを実践している弁護士の竹内俊一さんの講演と道内で実際に利用者支援を行なっている現場からの取り組みの報告を聞き、意思決定支援にどう取り組むべきかを考えます。

第 1 部 基調講演 テーマ 「権利擁護支援と意思決定支援」

講 師 全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士 竹内 俊一さん

第 2 部 パネルディスカッション テーマ「利用者支援における意思決定支援の取り組みから」

助言者 竹内 俊一さん

コーディネーター 白戸 一秀さん 旭川大学保健福祉学部教授

パネリスト 戸田 健一さん NPO たねっと障がい者相談支援センター夢民 地域コーディネーター

鈴木 正和さん 社会福祉法人北海道光生会爽やかネットワークマネージャー

久保田みさ子さん 北海道総合在宅ケア事業団美唄訪問看護ステーション所長

赤沼 智美さん 美唄市地域包括支援センター主査



参加対象 成年後見制度や意思決定支援に関心のある方など

定員 200 名 入場無料

発達障がいセミナー

困り感のある人の理解～発達障がいの理解と支援

発達障がいがある人とその家族が地域で安心して暮らすためには、広範な市民や日常的に関わる支援者の発達障がいの正しい理解とサポートが不可欠であることから、より正しい理解を深めるために本セミナーを開催します。

11 月 29 日 (土) 13:30~15:30 / 美唄市総合福祉センターぽぷら 研修室

講 師 社会福祉法人麦の子会 むぎのこ 地域支援部長 金澤 俊文さん



講師の金澤さんは臨床心理士並びに臨床発達心理士スーパーバイザーの資格を有し、療育機関への支援を行なうなど発達障がいに関する実践者としては道内の第一人者として活躍しています。

「歳末たすけあい運動」が始まります…ご協力お願いいたします

義援金(募金)募集機関 12月1日～20日

美唄市共同募金委員会と美唄市社会福祉協議会では今年も12月1日から歳末たすけあい運動をおこないます。この運動は新年を迎えるにあたり支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係機関・事業所などご理解ご協力を得ておこなうものです。

皆さまからいただいた義援金は次のとおり必要としている方へ助成します

事業名		対象世帯	助成内容
ア	歳末見舞金	在宅で要介護3～5の要介護者がいる世帯(グループホーム・ケアハウスを含む)	一律 10,000 円を贈呈
イ	歳末家事援助	次の要介護者で歳末の家事等を行う方がいない世帯(グループホーム・ケアハウスを除く) ①要支援1～要介護2 ②障害支援区分1～6	歳末時の居間等のスス払いや照明器具交換などの支援
ウ	おせち料理配食	美唄市食事サービス事業利用者	おせち料理を配食
エ	子育て支援事業	市内小学新1年生(翌年入学)	文房具セットを贈呈
オ	障がい児支援事業	障がい児施設入所者	クリスマスプレゼントを贈呈
カ	福祉灯油支給 ※市と共同事業	高齢者、障がい者、ひとり親世帯など	一世帯当たり税込 4,200 円相当の灯油を支給

※支給要件などの詳しいことは社協にお問合せいただくか、ホームページ、市広報紙メロディ 12 月号をご覧ください。

問合せ電話 62-0770、Fax 62-6996 ホームページ <http://www.bibai.com/shakyo/>

じぶんの町を良くするしくみ……赤い羽根共同募金

美唄市共同募金委員会

10月1日からはじまった赤い羽根共同募金は皆さまのご協力で
11月10日現在 2,085,841円の募金が集まりました。
募金は12月31日までお受けいたしますので、

よろしくご協力お願いします。



劇団ぽぷら 介護劇 上砂川町社会福祉大会で公演

美唄市社協の劇団ぽぷらが初の市外公演を行ないました。会場の上砂川町民センターには奥山町長はじめ約 120 名の町民の方が大会参加者として集まっていました。これだけ大勢の方の前で演ずるのは初めての団員ですが特段緊張もせずに、介護家族の様子、制度の課題などをアドリブで演じていました。観ていた上砂川の大会参加の皆さんは演技に大いに笑い、解説にうなづき、アット言う間の 1 時間の公演を楽しんでいました。



演じているメンバー(上)熱心に観ている大会参加者(下)

まちづくり講座

～さそい・さそわれ・いきいきライフ～



講座名	日時	場所	講師	備考
正月にかかせない！ ミニ門松づくり体験講座	12月20日(土) 10:00～11:30	総合福祉センター ぽぷら	廣岡文衛さん	先着 10 名程度 受付:12月1日から 材料費 500 円



紅葉のアルテピアツァで写真を撮る受講者

☆まちづくり講座デジカメ教室受講者の写真展開催中です☆

展示会場 駅前喫茶店「クックカフェ旅の途中で」

「家にあるカメラできれいな写真を撮ってみたい」「写真をとるコツってあるのかしら?」といった素朴な気持ちで受講した皆さんの写真を展示しています。

是非ご覧ください。

……11月25日(火)まで

おめでとうございます

美唄ろうあ協会・美唄手話の会創立40周年

この度、美唄ろうあ協会(昭和 50 年2月創立)と美唄手話の会(昭和 50 年 9 月創立)の創立 40 周年記念パーティが、北海道ろうあ連盟 柿崎理事長はじめ約 50 名の方が参加して盛大に開催されました。永年に渡る 2 団体の活動に對しまして敬意を表し、心からお祝い申し上げますとともに、今後益々ご発展をご祈念申し上げます。



あいさつする稲荷山ろうあ協会会長

あなたの善意を大切に 社協へのご寄付ありがとうございました

ご芳名 (敬称略)	金品額	摘要
匿名様	1,000円	センター使用のお礼として
美唄市介護家族と共に歩む会(あしたば)様	3,000円	ふれあいまつり益金の一部
坂本忠幸様	20,000円	亡父が世話になったので
横地敏子様	5,000円	世話になったので
匿名様	米10kg	デイサービスで世話になったので
高茂之様	行事用テント	地域の行事に活用してください
匿名様	100,000円	慶事を記念して
高橋富次様	100,000円	亡妻が世話になったので
9月16日～11月15日までの合計は 229,000 円です。26年度累計は365,812円です。		

発行・印刷 社会福祉法人美唄市社会福祉協議会

〒072-0026 美唄市西 3 条南 3 丁目 6-2 美唄市総合福祉センターぽぷら内

Tel 0126-62-0770 FAX0126-62-6996 ・ホームページ<http://www.bibai.com/shakyo/>

Eメール soumu.bibai-shakyo@palnet.jp

お願い—まちの話題や社協、ぽぷらに関するご意見・感想などをお寄せ下さい。

ありがとうございました。

